

平成 27 年度
漁業担い手満足度調査報告書

平成 28 年 1 月
岩手県農林水産部水産振興課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 回答者の属性	
2 分析結果	
(1) 総合満足度（漁業就業に対する満足度）	
(2) 個別満足度	
(3) 満足度構造分析	
(4) 特性分析（「将来への希望」の有無別）	
(5) 新規漁業就業者の確保・育成のための提案・意見等（自由回答）	
III 総 括	11
参考資料（調査票）	12

I 調査の概要

1 調査の目的

本県におけるなりわいとしての漁業の魅力について、漁業担い手の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響する要因を明らかにし、結果を漁業協同組合や市町村等と共有することで、漁家子弟や未経験者の漁業就業への動機付けのほか、就業環境の改善を図るための参考とするもの。

2 調査設計

- | | |
|------------|----------------------------------|
| (1) 調査対象 | 岩手県漁業士（平成 27 年 9 月 15 日現在の名簿登載者） |
| (2) 調査対象者数 | 94 人（青年漁業士 25 人、指導漁業士 69 人） |
| (3) 調査方法 | 設問票によるアンケート調査（郵送法） |
| (4) 調査時期 | 平成 27 年 9～10 月 |

3 調査項目

- (1) 総合満足度
- (2) 個別満足度（40 項目）
- (3) 新規漁業就業者の確保・育成のための提案・意見等（自由回答）

4 実施主体

岩手県農林水産部水産振興課

5 回収結果

- | | |
|-----------|-------|
| (1) 有効回収数 | 73 人 |
| (2) 回収率 | 77.7% |

6 報告書の見方

- (1) グラフ中の「n」は、各設問の回答者数を表す。
- (2) 回答の構成比は、各設問の回答者数を基数として小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、数値の合計が 100.0%にならない項目がある。
- (3) 総合満足度（平均点）は、次の式により求めた。

$$\text{総合満足度（平均点）} = \frac{(\text{「非常に満足」} \times 3 \text{ 点}) + (\text{「満足」} \times 2 \text{ 点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{ 点}) + (\text{「ふつう」} \times 0 \text{ 点}) + [\text{「やや不満」} \times (-1 \text{ 点})] + [\text{「不満」} \times (-2 \text{ 点})] + [\text{「非常に不満」} \times (-3 \text{ 点})]}{(\text{全回答者数})}$$

この算出方法では、平均点は-3.00 点～3.00 点の範囲となり、0.00 点が中間点となる。

【参考：設問の構成】

◆ 総合満足度（漁業就業に対する満足度）

項目	設問	評価基準※
総合満足度	あなたは、総合的に考えて、漁業者として働いていることにどの程度満足していますか。	7段階評価 ①非常に満足 ②満足 ③やや満足 ④ふつう ⑤やや不満 ⑥不満 ⑦非常に不満

※ 集計において、3点（非常に満足）～1点（非常に不満）で採点し、平均点を算出した。

◆ 個別満足度（40項目）

要因区分	番号	項目	設問	評価基準
仕事	(1)	やりがい	漁業にやりがいを感じている。	4段階評価 ①そう思う ②まあそう思う ③あまり そう思わない ④そう思わない
	(2)	将来への希望	漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	
	(3)	責任ある仕事	国民に食料を供給する責任ある仕事だと思う。	
	(4)	能力の活用	自分の能力が活かせる仕事だと思う。	
	(5)	生産物への誇り	自分の生産物に誇りをもっている。	
	(6)	地域ブランドへの誇り	地域ブランドに誇りをもっている。	
	(7)	自然との調和	自然に恵まれた環境での仕事だと思う。	
	(8)	継続意欲	定年が無く、体力と意欲が続く限り働き続けられる。	
自己の成長	(9)	成長期待	仕事を通じて人として成長できると思う。	
	(10)	自己啓発	能力向上（試験・研究・研修・講習会の受講等）の機会に恵まれている。	
経営目標	(11)	経営目標	自分には明確な経営目標がある。	
	(12)	経営拡大志向	現在の漁業経営の規模を拡大したい。	
	(13)	共同生産への興味	他の漁業者と連携しての共同生産に興味がある。	
	(14)	後継者	後継者がいる（見込みを含む）。	
他の漁業者との関係	(15)	尊敬できる漁業者	地域に尊敬できる漁業者がいる。	
	(16)	漁業者間の信頼	必要ときに他の漁業者に相談できる環境にある。	
	(17)	就業希望者の受入環境	地域には漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援できる環境がある。	
地域住民や消費者との関係	(18)	地域とのつながり	近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	
	(19)	伝統・文化	地域の郷土食や祭り等の伝統や文化を大切にしている。	
	(20)	消費者とのつながり	消費者と対話する機会を確保している。	
漁協との関係	(21)	漁協への帰属意識	所属する漁協の組合運営や経営方針に共感している。	
	(22)	漁協の目指す姿	所属する漁協の目指す姿（「地域再生営漁計画」等）を理解している。	
	(23)	漁業秩序	地域の漁業者はルールを守って操業している。	
	(24)	漁業権行使	十分な漁業権の行使機会に恵まれている。	
	(25)	漁協への信頼	必要ときに漁協に相談できる環境にある。	
	(26)	役割の発揮	地域には年齢、経験、性別に応じて漁業生産の役割を發揮できる環境がある。	
労働条件	(27)	仕事量	現在の自分の仕事量は、適切なレベルだと思う。	
	(28)	労働時間	現在の自分の労働時間は適切なレベルだと思う。	
	(29)	休日・休暇	休日や休暇は満足いくレベルで取得できている。	
	(30)	労働力	漁業生産のための十分な労働力が確保できている。	
	(31)	設備・機器	漁業生産のための十分な設備・機器が整っている。	
	(32)	漁場環境	漁場の環境は良好である。	
収入	(33)	単価水準	生産物の単価は適切な水準だと思う。	
	(34)	評価基準	生産物の評価基準は明確だと思う。	
	(35)	収入水準	現在の自分の収入は適切な水準だと思う。	
	(36)	努力の反映	自分の努力は収入に反映されていると思う。	
生活条件	(37)	住環境	満足な住環境が確保できている。	
	(38)	買い物	生活必需品がいつでも買える環境が確保できている。	
	(39)	情報入手	必要な情報を入手できる環境にある。	
	(40)	交通の便	交通の便に不自由しない環境にある。	

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

漁業士区分別	回答者数	構成比
青年漁業士	17人	23.3%
指導漁業士	56人	76.7%

男女別	回答者数	構成比
男性	65人	89.0%
女性	8人	11.0%

年齢階層別	回答者数	構成比
30代（30～39歳）	7人	9.6%
40代（40～49歳）	18人	24.7%
50代（50～59歳）	24人	32.9%
60代（60～66歳）	24人	32.9%

主な漁業種類別	回答者数	構成比
漁船漁業	6人	8.2%
養殖業	44人	60.3%
採介藻漁業	12人	16.4%
その他	2人	2.7%
不明	9人	12.3%

年収階層別※	回答者数	構成比
～200万円未満	3人	4.1%
～400万円未満	10人	13.7%
～600万円未満	15人	20.5%
～800万円未満	10人	13.7%
～1,000万円未満	5人	6.8%
1,000万円以上	22人	30.1%
不明	8人	11.0%

※ 漁業外収入を含む平成26年度の実績。

2 分析結果

(1) 総合満足度（漁業就業に対する満足度）

◆ 全体

構成比は、「非常に満足」5.5%、「満足」23.3%、「やや満足」31.5%であり、漁業者として働いていることに**全体の60.3%が満足**を感じている一方で、「やや不満」6.8%、「不満」4.1%、「非常に不満」1.4%であり、**全体の12.3%は不満**を感じています。

平均点は、0.71点です。

◆ 漁業士区分別

指導漁業士（平均点0.66点）よりも**青年漁業士（同1.06点）の満足度が高い傾向**にあります。

◆ 男女別

男性（平均点0.72点）よりも**女性（同1.00点）の満足度が高い傾向**にあります。

◆ 年齢階層別

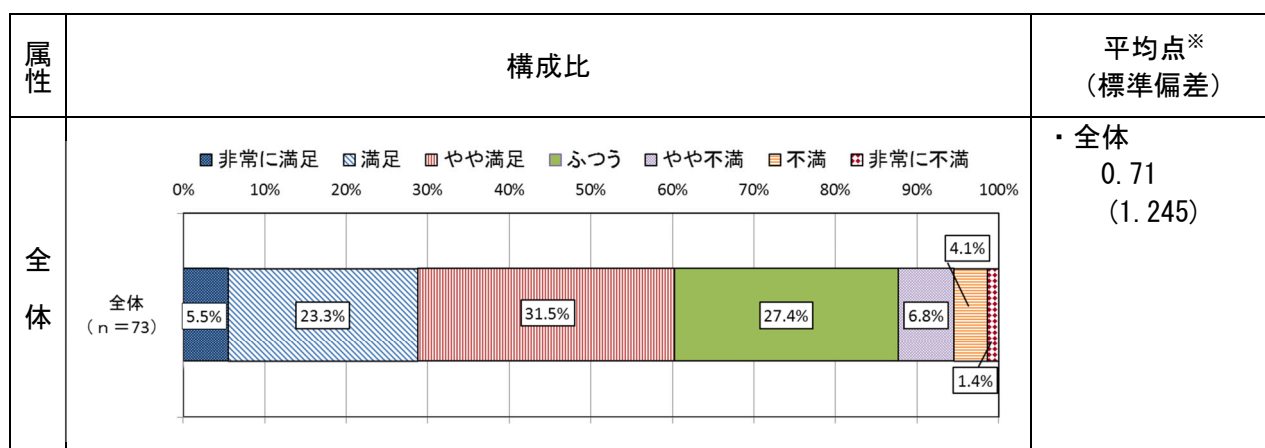
30代（平均点1.43点）と60代（同1.00点）の満足度が比較的高い一方で、50代（同0.38点）や40代（同0.67点）が低い傾向にあります。

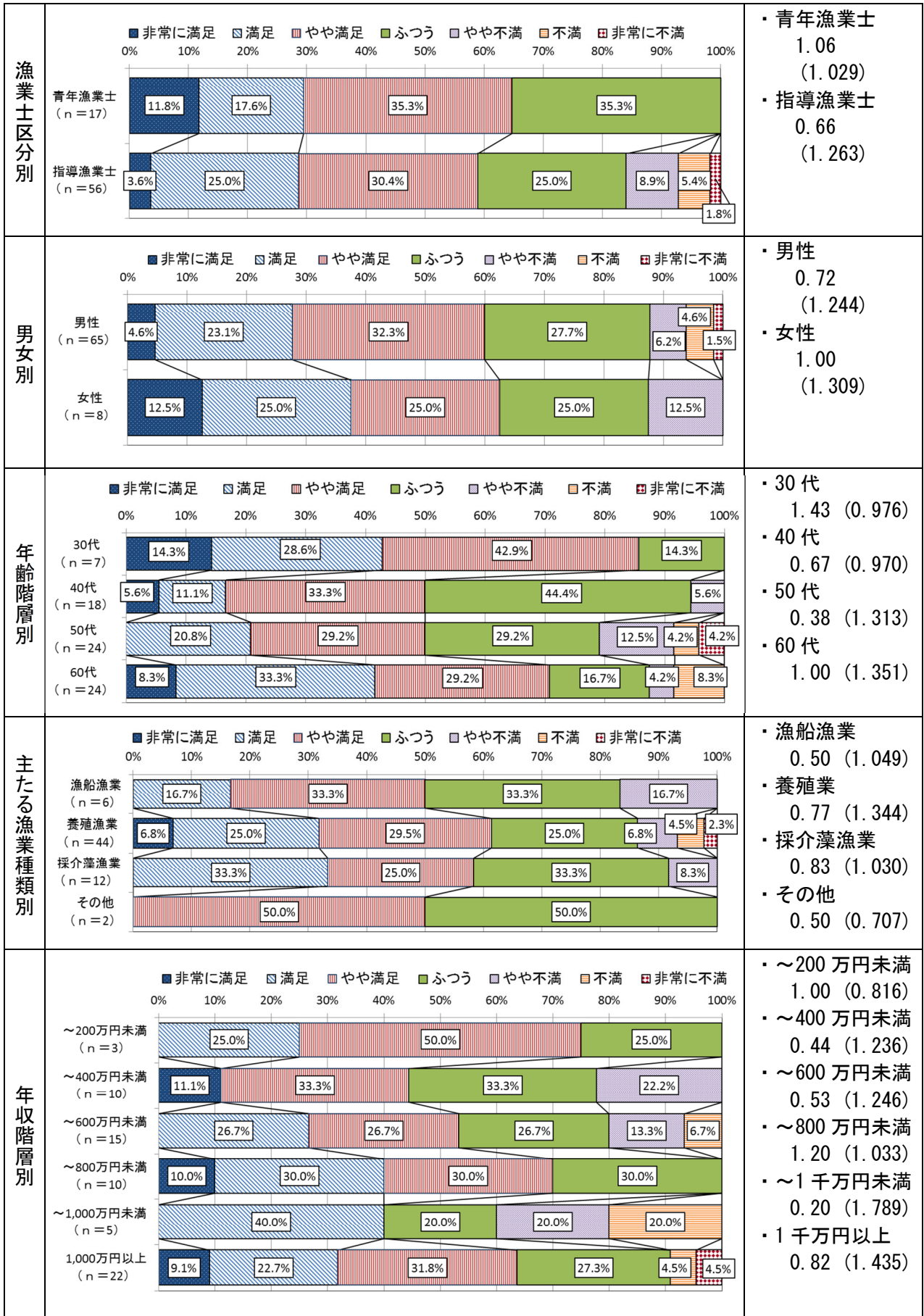
◆ 主たる漁業種類別

採介藻漁業（平均点0.83点）と養殖業（同0.77点）の満足度が比較的高い一方で、漁船漁業（同0.50点）が低い傾向にあります。

◆ 年収階層別

該当人数が少ない「～200万円未満」と「～1,000万円未満」を除くと、「～800万円未満」（平均点1.20点）と「1,000万円以上」（同0.82点）が比較的高い一方で、「～400万円未満」（同0.44点）と「～600万円未満」（同0.53点）が低い傾向にあります。



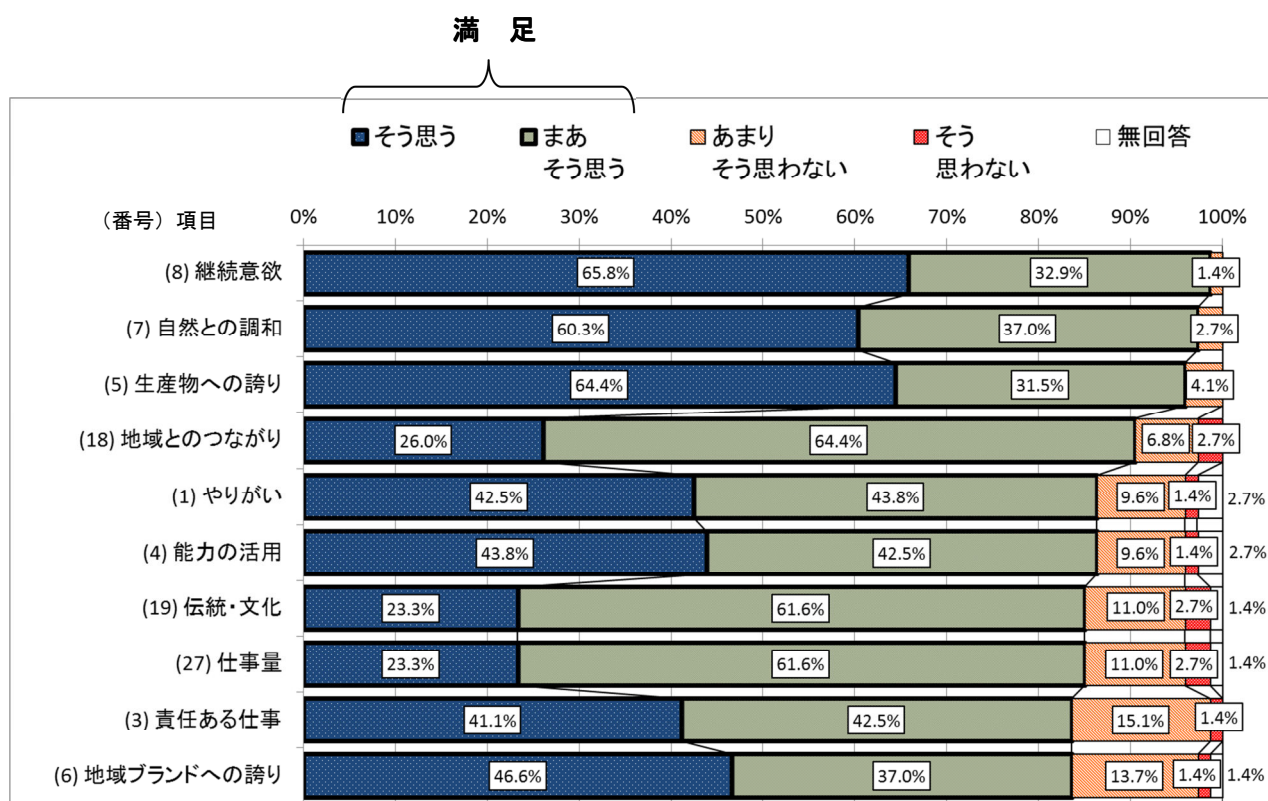


※ 「非常に満足」 3点～「非常に不満」 - 3点で採点した場合の平均点

(2) 個別満足度

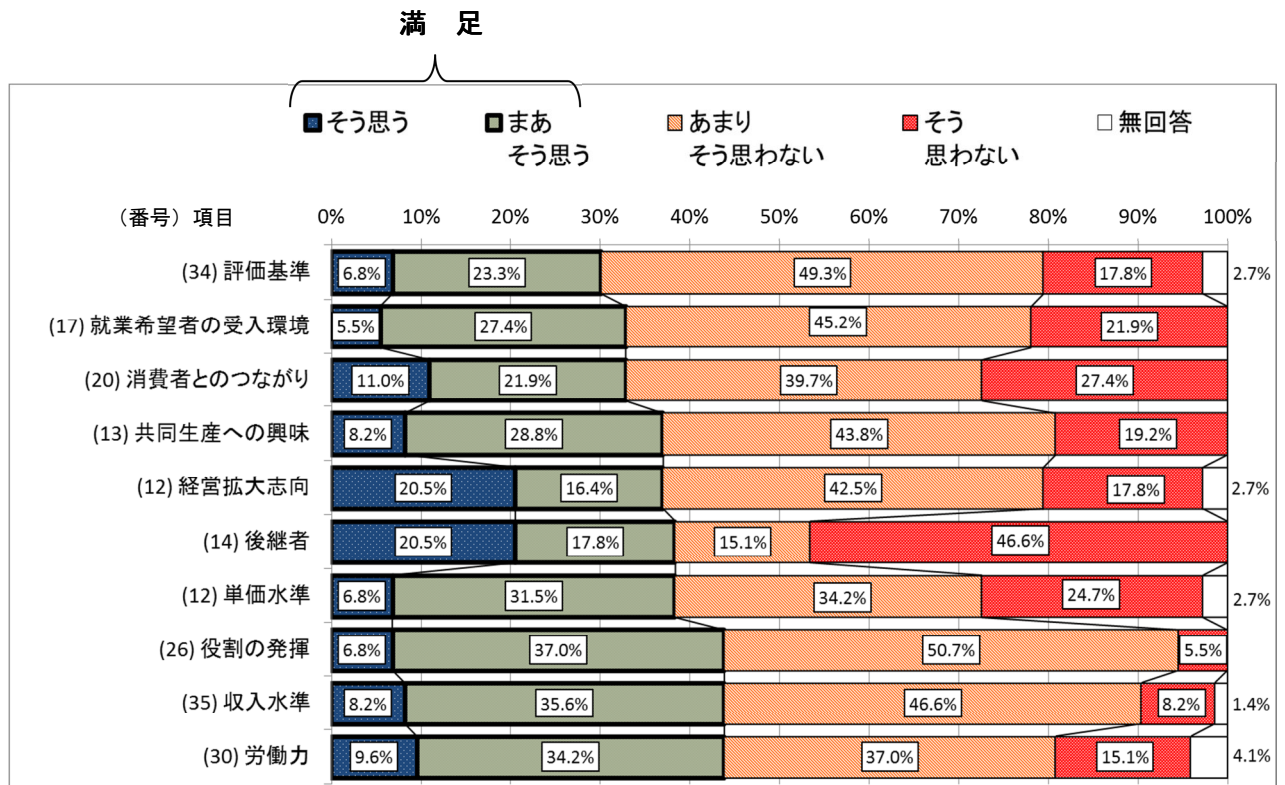
◆ ベスト 10 項目

40 項目の設問のうち、「そう思う」と「まあそう思う」の構成比の合計が比較的高いものを整理すると、「継続意欲」、「自然との調和」、「生産物への誇り」、「地域とのつながり」、「やりがい」、「能力の活用」、「伝統・文化」、「仕事量」、「責任ある仕事」、「地域ブランドへの誇り」となっています。



◆ ワースト 10 項目

40 項目の設問のうち、「そう思う」と「まあそう思う」の構成比の合計が比較的低いものを整理すると、「評価基準」、「就業希望者の受入環境」、「消費者とのつながり」、「共同生産への興味」、「経営拡大志向」、「後継者」、「単価水準」、「役割の発揮」、「収入水準」、「労働力」となっています。

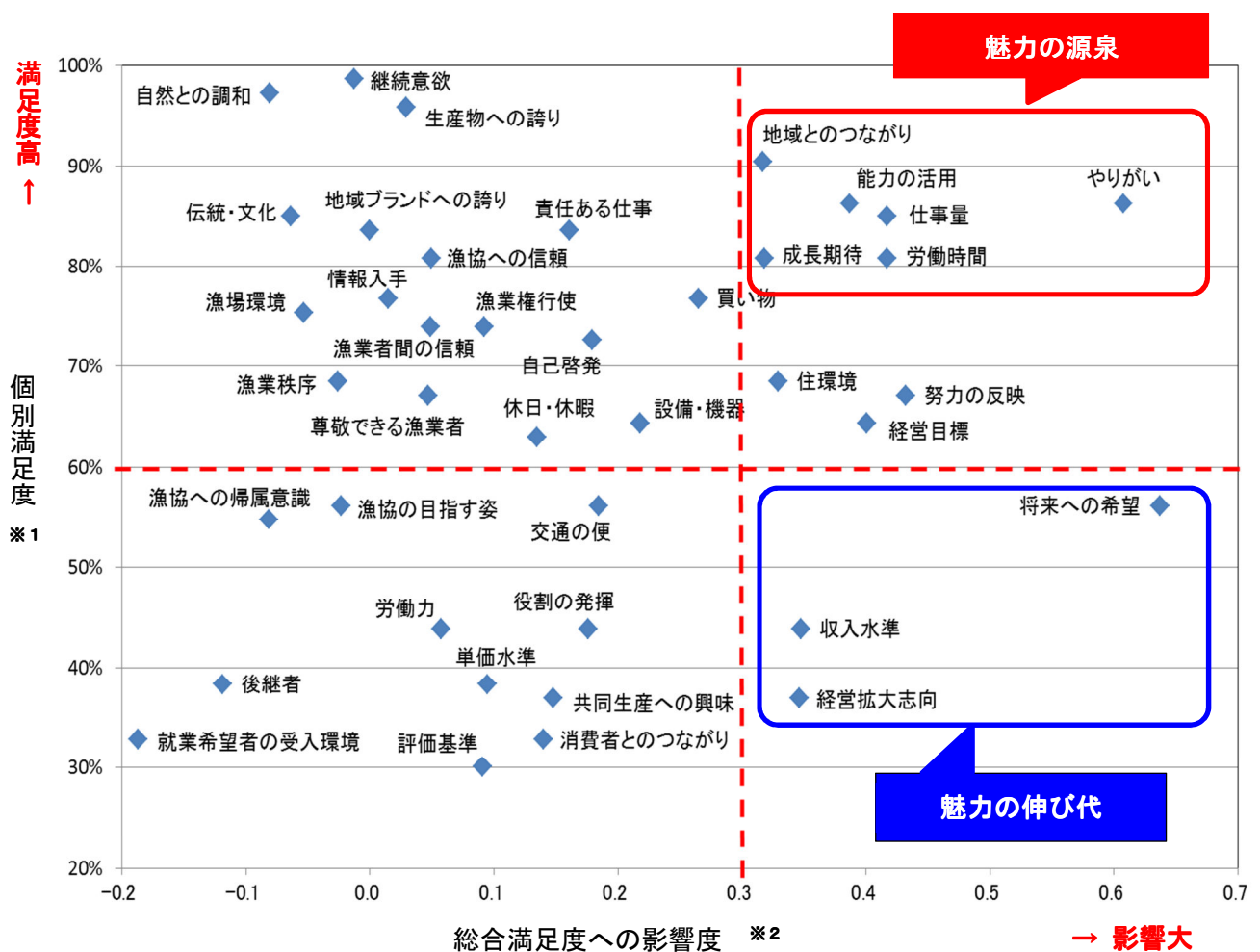


(3) 満足度構造分析

総合満足度に影響する要因を明らかにするため、個別満足度を縦軸、個別満足度が総合満足度に与える影響度（単相関係数 r ）を横軸とする散布図を作成しました。

個別満足度が高く、総合満足度への影響度も高い項目をなりわいとしての漁業の**魅力の源泉**と考える場合、「やりがい」、「仕事量」、「労働時間」、「能力の活用」、「成長期待」、「地域とのつながり」が該当します。

一方で、総合満足度への影響度が高いにもかかわらず、個別満足度が低い項目を**魅力の伸び代**と考える場合、「将来への希望」、「収入水準」、「経営拡大志向」が該当します。



※1 個別満足度の各設問に対する「そう思う」と「まあそう思う」の構成比の合計

※2 総合満足度の評価（7段階）と個別満足度の評価（4段階）との相関（単相関係数 r ）

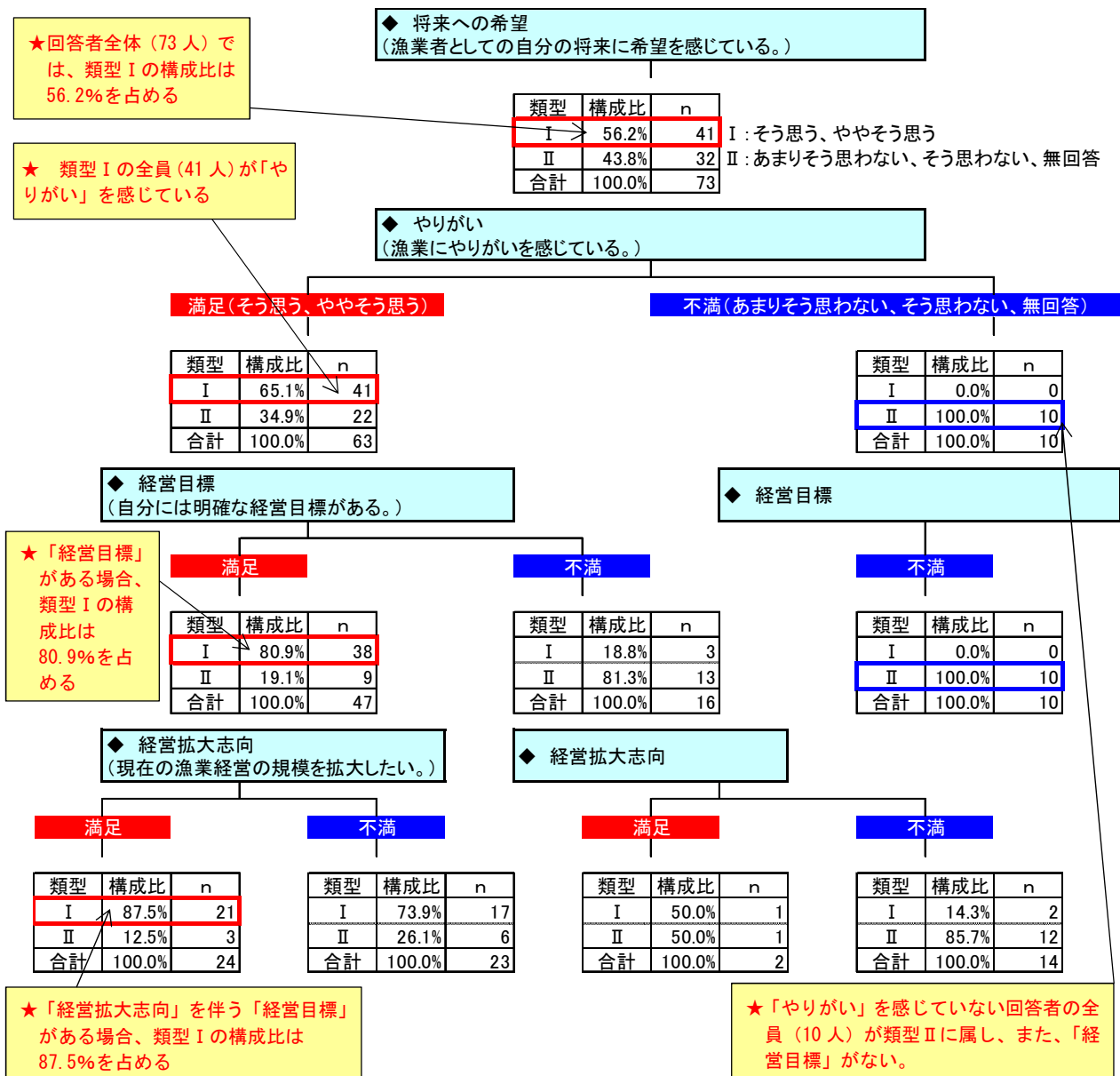
単相関係数 r ：2つの要因について関係の強さを示す「ものさし」であり、 $-1 \sim 1$ の値を取り、 -1 又は 1 に近いほど「関係が強く」、 0 に近いほど「関係が弱い」ことを示します。

(4) 特性分析（「将来への希望」の有無別）

満足度構造分析の結果から、本県のなりわいとしての漁業の魅力を向上させるためには、「将来への希望」、「収入水準」、「経営拡大志向」の水準の向上が必要なことが明らかとなりましたが、特に「将来への希望」は漠然としており、対策を働きかける対象を明らかにする必要があります。

「将来への希望」の特性について、他の項目との関係性を分析し、比較的相関が高い「やりがい」（ $r=0.67$ ）、「経営目標」（ $r=0.65$ ）、「経営拡大志向」（ $r=0.54$ ）との関係を整理しました。

「将来への希望」に満足している回答者（タイプⅠ）に注目すると、全体の構成比は56.2%ですが、「経営拡大志向」を伴う「経営目標」がある回答者に絞り込んだ場合、その構成比は87.5%を占めています。



(5) 新規漁業就業者の確保・育成のための提案・意見等（自由回答）

内 容（原文まま）
もう少し新規や若い人間に対して、県や市がとくべつな取り組みをしてもらいたい。 このままでは漁業のみりよくがまったくないし、岩手の未来はないと思う。 自分はまだ歳が若い、このままでは、生活もくるしくなると思うしもっと若い人間をそだてるような取り組みをしてほしい。
空き漁場がある地域と全く無い地域と大きな格差があるので何とか是正したい。 空が無い地での新規就業などありえないと思うが...
市だけでなく、国、県からも、直接新規就業者に支援があれば良い。
他漁協や生産者との交流や意見交換する場をもっと増やし、互いに劣る分や技術を見付け、改良していき自分たちの漁場は、他にも引けを取らない浜だと若い人達にも思わせやりのいいにしていくべき。
県・漁協との連携。魅力ある浜づくり。漁業体験（就業希望者など）
労働力を補う為の方策が至急必要だと思います。漁連、漁協が県下の状況を良く理解し、他の業種を見習って当座をしのぎ、(外国人) 同時に、将来の為に計画を作成し、海で生活する人全員で取り組ませる。
漁協単位で就業者を確保しその人の希望や、意見等を聞きながら色んな仕事を、体験させて、その中から、自立できる様にしていけるような、場が必要なのでは？（漁家子弟以外の人について）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手あるいは、そうなりそうな、認定者（後・審査）優先の、漁業権と、家庭菜園（畑）付きの土地を造成し、提供する。（地域居住者以外も、全国からも希望者を募る） ・ 漁業士の自覚と、意識向上のため、統一したブレザーを制作する。会の活動や、会議等に使用（着用）する。～自信を持たせ、堂々とした行動、向上を図る～
安定した収入の確保
既存の漁業者が、魅力的な生活安定であること。（収入、休日、生産物、等の安定）
何故、後継者として漁業を子等が選ばないのか、漁業をやりたいと思う人たちにとって何が不足、ネックになっているのか、受け入れやすい状況なのか等 根本的なこと（漁協のあり方考え方なども含め）等 本気で考えていかないと、何十年経っても状況は変わらないと思います。
収入が少なくとも、せかせかしない今の仕事（漁船漁業）が私には、合っていたのかもしれないし、息子もこの仕事を選んだということは、収入ではなく何か魅力があったんだと思います。
今の、自然環境が厳しくて将来が見えません。現状が維持できるのであれば、漁業もすばらしいと、胸を張って言えるのですが。でも、どんな環境であっても、漁業をしていく子供を育てて行かなくてはと、孫には、漁業の良さを何かにつけ話しています。
新規での漁業権は、行使できない
一家から一人しか認めないとか、加入金が高すぎると言ったような、条件を緩和したほうが良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁船や資材等の購入へ補助があった方がいいと思う。 ・ 育成期間中等に雇用主への人件費等補助があればより多くの人材育成が出来ると思う。
ロープのあつかい方や生物生産のしこみから出荷までの作業等の生活史がわかりやすく説明できるパンフレットのようなもの
就業環境に最高の漁場である
この先全国で人手不足になる事は、確だと思う。 但し、息子を強制的に、後継ぎには出来ない現状にあります。
I ターン、U ターン者の枠を設け、希望者を募り、住宅を提供したり、漁業に従事できる様に船舶、漁具、設備等の補助を積極的に行う。

Ⅲ 総括

1 総合満足度（漁業就業に対する満足度）について

全体の構成比では60.3%が満足を感じています。平均点では0.71点と「ふつう」（0点）よりも「やや満足」（1点）寄りの水準です。

一方で、属性別では、年齢階層別の「50代」（平均点0.38点）や年収階層別の「～400万円未満」（同0.44点）等、一部の属性の満足度が低いことから、総合満足度の向上のためには同属性の視点に立った就業環境の改善対策が必要です。

2 個別満足度について

比較的満足度の高い項目は、「継続意欲」、「自然との調和」、「生産物への誇り」、「地域とのつながり」、「やりがい」、「能力の活用」、「伝統・文化」、「仕事量」、「責任ある仕事」、「地域ブランドへの誇り」が該当します。

一方で、比較的満足度の低い項目は、「評価基準」、「就業希望者の受入環境」、「消費者とのつながり」、「共同生産への興味」、「経営拡大志向」、「後継者」、「単価水準」、「役割の発揮」、「収入水準」、「労働力」が該当します。

3 満足度構造分析

個別満足度のうち、総合満足度に強く影響しているものは「やりがい」、「仕事量」、「労働時間」、「能力の活用」、「成長期待」、「地域とのつながり」であり、漁業の魅力の源泉として、今後もその水準を維持しながら各地域の就業実態を交えて具体化することで、地域提案型の価値としてPRすることが可能です。

特に、漁業には朝が早く、仕事がきついというイメージが付きまといますが、本調査では「仕事量」と「労働時間」について8割を超える回答者が満足し、「成長期待」や「やりがい」等とともに就業そのものの満足に大きく影響していることは、今後の本県の漁業担い手対策を考えるうえで注目に値するものです。

一方で、魅力の更なる向上のためには、「将来への希望」、「収入水準」、「経営拡大志向」の水準の向上が必要です。

なお、本調査結果は、あくまで漁業経営者である岩手県漁業士の視点からの価値観を整理したものであり、総合満足度への影響は低いものの、就業希望者の視点や、地域の漁業生産力の維持といった客観的な視点からは、「就業希望者の受入環境」、「後継者」、「労働力」等の水準の向上も重要となります。

4 特性分析（「将来への希望」の有無別）

「将来への希望」の水準を向上させるためには、個々の漁業経営体の経営方針に配慮しつつ、「経営拡大志向」を伴う「経営目標」をもっていただけるような就業環境の整備が必要です。

【参考資料】 平成 27 年度 漁業担い手満足度調査（調査票）

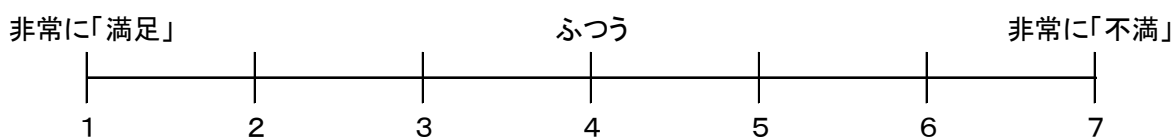
本県の漁業就業者は、後継者不足と相まって高齢化と減少が続いており、新規就業者の確保が喫緊の課題です。本調査は、課題を解決するにあたり、漁業者の先達である岩手県漁業士の皆さんを対象に日々の仕事に対する満足度やその源泉を把握し、本県における漁業就業の魅力として誇れるもの、不足しているものとして整理し、その結果を関係者と共有することで、漁家子弟や未経験者の漁業就業への動機付けのほか、就業環境の改善を図るための参考とするものです。

本調査の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いします。

※ 本調査で得た情報については、目的以外には使用しません。
また、集計結果のみを使用するため、個人情報がそのまま外部に漏れることはありません。

◆ 漁業に関係するさまざまな項目について、あなたの満足度をお伺します。

問1. あなたは、総合的に考えて、漁業者として働いていることにどの程度満足していますか。
あてはまる番号に○印をつけてください。



問2. 次の各項目について、どのように感じていますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

	1	2	3	4
(1) 漁業にやりがいを感じている。	1	2	3	4
(2) 漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	1	2	3	4
(3) 国民に食料を供給する責任ある仕事だと思う。	1	2	3	4
(4) 自分の能力が活かせる仕事だと思う。	1	2	3	4
(5) 自分の生産物に誇りをもっている。	1	2	3	4
(6) 地域ブランドに誇りをもっている。	1	2	3	4
(7) 自然に恵まれた環境での仕事だと思う。	1	2	3	4
(8) 定年が無く、体力と意欲が続く限り働き続けられる。	1	2	3	4
(9) 仕事を通じて人として成長できると思う。	1	2	3	4
(10) 能力向上（試験、研究、研修、講習会等）の機会に恵まれている。	1	2	3	4
(11) 自分には明確な経営目標がある。	1	2	3	4
(12) 現在の漁業経営の規模を拡大したい。	1	2	3	4
(13) 他の漁業者と連携しての共同生産に興味がある。	1	2	3	4
(14) 後継者がいる（見込みを含む）。	1	2	3	4
(15) 地域に尊敬できる漁業者がいる。	1	2	3	4
(16) 必要なときに他の漁業者に相談できる環境にある。	1	2	3	4
(17) 地域には漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援できる環境がある。	1	2	3	4
(18) 近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	1	2	3	4
(19) 地域の郷土食や祭り等の伝統や文化を大切にしている。	1	2	3	4
(20) 消費者と対話する機会を確保している。	1	2	3	4

	そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
(21) 所属する漁協の組織運営や経営方針に共感している。	1	2	3	4
(22) 所属する漁協の目指す姿（「地域再生営漁計画」等） を理解している	1	2	3	4
(23) 地域の漁業者はルールを守って操業している。	1	2	3	4
(24) 十分な漁業権の行使機会に恵まれている。	1	2	3	4
(25) 必要なときに漁協に相談できる環境にある。	1	2	3	4
(26) 地域には年齢、経験、性別に応じて漁業生産の 役割を發揮できる環境がある。	1	2	3	4
(27) 現在の自分の仕事量は妥当なレベルだと思う。	1	2	3	4
(28) 現在の自分の仕事時間は妥当なレベルだと思う。	1	2	3	4
(29) 休日や休暇は満足いくレベルで取得できている。	1	2	3	4
(30) 漁業生産のための十分な労働力が確保できている。	1	2	3	4
(31) 漁業生産のための十分な設備・機器が整っている。	1	2	3	4
(32) 漁場の生産環境は良好である。	1	2	3	4
(33) 生産物の単価は妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(34) 生産物の評価基準や評価体系は明確だと思う。	1	2	3	4
(35) 現在の自分の収入は妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(36) 自分の努力は収入に反映されていると思う。	1	2	3	4
(37) 満足な住環境が確保できている。	1	2	3	4
(38) 生活必需品がいつでも買える環境が確保できている。	1	2	3	4
(39) 必要な情報を入手できる環境にある。	1	2	3	4
(40) 交通の便に不自由しない環境にある。	1	2	3	4

◆ 新規漁業就業者の確保・育成のための御提案や御意見がありましたら記入してください。

◆ あなたご自身のことについてお伺いします。各項目にお答え願います。

・ 所属	漁業協同組合		
・ 属性	指導漁業士	・ 青年漁業士	※どちらかに○
・ 性別	男	・ 女	※どちらかに○
・ 年齢	満 歳		
・ 漁業就業期間	年間	※家族従事者(手伝い)としての就業期間も含めた通算期間	
・ 主な漁業種類	漁船漁業 ・ 養殖業 ・ 採介藻漁業 ・ その他 ※主なもの1つに○		
・ 年間収入	漁業収入	約	万円
(平成26年度)	漁業外収入	約	万円
	合計	約	万円

設問は以上です。御協力ありがとうございました。

県は、漁業協同組合、漁業関係団体及び市町村などの関係者と連携し、今回の調査結果等を参考としながらなりわいとしての漁業の魅力を積極的にPRし、新規漁業就業者の確保に努めていきます。

また、関係者と連携して魅力の向上に取り組みながら、本調査を定期的に実施し、その取組の効果を把握・評価していきます。

平成 27 年度 漁業担い手満足度調査結果報告書

平成 28 年 1 月

岩手県農林水産部水産振興課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1

電 話 019-629-5806 F A X 019-629-5824